

変更後の群馬県営五箇谷土地改良事業計画書

(区 画 整 理)

群 馬 県

目 次

第1章	目 的	1	2. 事業別面積	20
第2章	地域及び地積	1	第2節 営農計画及び土地利用計画	20
第1節	地 域	1	1. 営農計画の概要	20
第2節	地 積	1	2. 土地利用区分	21
第3章	現 況	2	3. 作付方式	21
第1節	気 象	2	4. 生産計画	22
1.	一般気象	2	5. 労働改善計画	23
2.	特殊気象	3	6. 級地別土地利用区分	23
第2節	土地状況	4	7. 土地配分計画	23
1.	地形、土壤及び浸食の程度	4	第3節 用水計画	24
2.	土地分類	4	1. 計画基準年	24
3.	土地利用の状況	5	2. 計画かんがい方式	24
4.	土地所有の状況	5	3. 計画用水系統	24
第3節	水利状況	6	4. 計画用水量	26
1.	用水状況	6	5. 水源計画	27
2.	排水状況	9	第4節 排水計画	29
第4節	道路状況	12	1. 計画基準雨量	29
1.	道路概況	12	2. 計画排水方式	29
2.	主要道路一覧表	12	3. 計画排水系統	29
第5節	地域農業の概況	14	4. 計画排水量	31
1.	産業別就業人口	14	5. 排水対策	31
2.	経営農地広狭別農家数及び農地の分散状況 並びに専兼業別農家数	15	6. たん水検討	31
3.	動力農機具及び主要家畜頭数	16	第5節 道路計画	32
4.	主要作物作付状況	17	1. 道路及び索道	32
5.	農業の動向	18	2. 路線配置図	32
第6節	地域環境の概況	19	第6節 農用地造成計画	34
第4章	一般計画	20	第7節 洪水調節計画	34
第1節	事業計画の要旨	20	第8節 干拓計画	34
1.	要 旨	20	第9節 農用地整備計画	34
			1. 区画整理	34

2. 暗渠排水	35
3. 客 土	35
4. 農地保全	35
第5章 主要工事計画	37
第1節 用水施設	37
1. 頭首工	37
2. 貯水池	37
3. 揚水機	37
4. 用水路	37
5. その他かんがい施設	37
第2節 排水施設	38
1. 排水水門	38
2. 排水機	38
3. 排水路	38
4. その他の排水施設	38
第3節 道路及び索道	39
1. 道 路	39
2. 索 道	39
第4節 農用地造成	40
第5節 洪水調節施設	40
第6節 干拓施設	40
第7節 農用地整備施設	40
1. 区画整理	40
2. 暗渠排水	41
3. 客 土	41
4. 農地保全	41
第6章 付帯工事計画	41
第7章 工事の着手及び完了の時期	41
第8章 環境との調和への配慮	42
第1節 環境との調和への配慮の方針	42

1. 位 置	42
2. 配慮内容	42
第9章 換地計画の概要	43
第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方	43
第2節 換地区の設定	43
1. 換地区の名称、住所、地積	43
2. 換地区を設定しない理由	43
第3節 換地計画樹立の基本方針	43
1. 従前の土地の地積の基準	43
2. 用途別予定地積	44
3. 農用地集団化の方針	45
4. 非農用地換地の方法	45
5. 創設土地改良施設用地換地の方法	45
第4節 土地の評価及び清算の方法	46
1. 評価の方法	46
2. 清算の方法	46
第5節 換地計画樹立の年度計画	46
第6節 換地処分 of 時期に関する特例	46
第10章 事業費の総額及び内訳	47
第11章 効 用	48
第12章 関連する事業	49
第13章 現況・計画図面	49
1. 現況平面図	
2. 計画平面図及び土地利用計画図	
3. 主要構造図	

第2節	環境との調和への配慮に伴う配慮内容	42
-----	-------------------	----

第1章 目 的

本地区は、群馬県東部の平坦な水田地帯で、昭和19年以降には場の整備済みであるが、10アール区画であることや、各揚水機場に設けられている揚水ポンプは設置後40年が経過し、故障の頻度も多く交換部品の調達も困難な状況であり、排水路は土水路、道路網は地区のほぼ中央には1級町道が縦断しているが、地区内の道路は2mと狭いこと等整備水準が低く、機械化展開を阻害する一因となっている。

このため、区画整理を実施し、生産性の向上を図ろうとするものである。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事 業 名	地 域
区画整理	群馬県邑楽郡 板倉町 大高嶋 下五箇 の一部

第2節 地 積

(令和8年3月現在) (第2表)

事業名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名							
区画整理	板 倉 町	106.6	1.1	—	—	16.4	124.1	図測
合 計		106.6	1.1	—	—	16.4	124.1	

第3章 現 況

第1節 気象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	館林観測所	かんがい期	非かんがい期	計または平均	備 考
観測期間	1991年～2020年	6月～9月	10月～5月		
平均気温 (°C)		24.8	10.7	15.4	「1991～2020年」30年間平年値
降水量	平 均 (mm)	612.7	589.9	1,203	〃
	基準年 (mm)	430	450	880	昭和35年
降水日数	平 均 (日)	46	55	101	「1991～2020年」30年間平年値
	基準年 (日)	51	56	107	昭和35年
根雪期間		一月 一日～ 一月 一日 (一日間)			
無霜期間		4月 1日～ 11月 13日 (227日間)			
最多風向		NNW	最大風速 (風 向)	N 29.9m/s	最大風向発生時期 9月～ 5月
					最大風速発生年月日 M. 33年9月28日

2. 特殊気候

(第3表-2)

観測所名	第 1 位		第 2 位		第 3 位		第 4 位		第 5 位		備 考
館 林	数 量 (年月日)	発生 確率	数 量 (年月日)	発生 確率	数 量 (年月日)	発生 確率	数 量 (年月日)	発生 確率	数 量 (年月日)	発生 確率	
観測期間											
1976年～2019年											
最大日雨量(mm)	228.0 2019. 10. 12		219.0 2011. 7. 19		169.5 2015. 7. 16		147 1986. 8. 4		144.0 2013. 10. 16		
最大時間雨量(mm)	71 1995. 8. 22		64 2008. 7. 25		61 1984. 8. 8		61 1977. 7. 16		57 1982. 8. 30		
最大4時間雨量(mm)	105 2015. 7. 16		85 2008. 7. 25		82 2016. 8. 22		81 1977. 7. 16		80 1982. 8. 30		
最大連続雨量(mm)	293.0 1985. 6. 18		263.0 1991. 10. 5		262.5 2014. 6. 5		259.0 2011. 7. 19		231.0 1998. 8. 26		
最大連続干天日数 (日)	29 1992. 8. 19 ～1992. 9. 16		24 2010. 8. 15 ～2010. 9. 7		21 2015. 4. 21 ～2015. 5. 11		19 1997. 10. 13 ～1997. 10. 31		19 1985. 7. 22 ～1985. 8. 9		

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

(令和8年3月現在) (第4表-1-1)

事業名	地 目	田						畑 ・ そ の 他						受益地標高(m)		備 考
	傾斜区分	1/1000以下	1/1000 ～ 1/100	1/100 ～1/20	1/20～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3° ～ 8°	8° ～ 15°	15° ～ 20°	20° 以上	計	最 高	最 低	
区画整理	面積 (ha)	106.6	—	—	—	—	106.6	1.1	—	—	—	—	1.1	14.6	13.1	
	比率 (%)	100	—	—	—	—	100	100	—	—	—	—	100			
合計	面積 (ha)	106.6	—	—	—	—	106.6	1.1	—	—	—	—	1.1			
	比率 (%)	100	—	—	—	—	100	100	—	—	—	—	100			

(第4表-1-2)

項 目 土 壌 統(区)名	土 壌 統 (区) 区 分 一 覧 表										面 積 (ha)		備 考
	土 壌 断 面							堆積様式	母 材	事 業 名			
	色	腐 植	礫 層	酸化沈殿物	土 性					泥炭層、 黒泥層及び グライ層	区画 整理		
					表 土	下 層 土							
					一 層	二 層	三 層						
神農原統(Kn-1)	黄 褐	含まない	な し	富 む	CL	CL	LiC	作土直下 黒泥層	水 積	非固結 水成岩	105.4		E40 グライ 壤構造型
藤川統F-2)	灰褐色	含まない	な し	富 む	L	L	LiC	50cm以下 グライ層	水 積	非固結 水成岩	1.0		
計													

2. 土地分類

該当無し

3. 土地利用の状況

(令和8年3月現在)

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村別	農 地						山 林		採 草 放牧地	原 野	その他	計	備 考
		水 田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	桑 畑 (ha)	その他 樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
区 画 整 理	板 倉 町	106.6	1.1	—	—	—	—	—	—	—	—	16.4	124.1	
	計	106.6	1.1	—	—	—	—	—	—	—	—	16.4	124.1	
計		106.6	1.1	—	—	—	—	—	—	—	—	16.4	124.1	

4. 土地所有の状況

(令和8年3月現在)

(第4表-4)

事業名	所有別 区分	個 人 有	市 町 村 有	県 有	国 有		計	備 考
区 画 整 理	面 積(ha)	109.1	14.5	0.5	—		124.1	
	関係戸数(戸)	319	—	—	—		319	
	筆 数(筆)	1,356	1,023	41	—		2,420	
	権 利 関 係	所 有 権	法第5条 第6項用地	法第5条 第6項用地	—		—	
	受 益 者 数	267	—	—	—		267	
合 計								
	面 積(ha)	109.1	14.5	0.5	—		124.1	
	関係戸数(戸)	319	—	—	—		319	
	筆 数(筆)	1,356	1,023	41	—		2,420	
	権 利 関 係	所 有 権	法第5条 第6項用地	法第5条 第6項用地	—		—	
	受 益 者 数	267	—	—	—		267	

第3節 水利状況

1. 用水状況

(1) 用水系統

(別紙現況用水系統模式図参照)

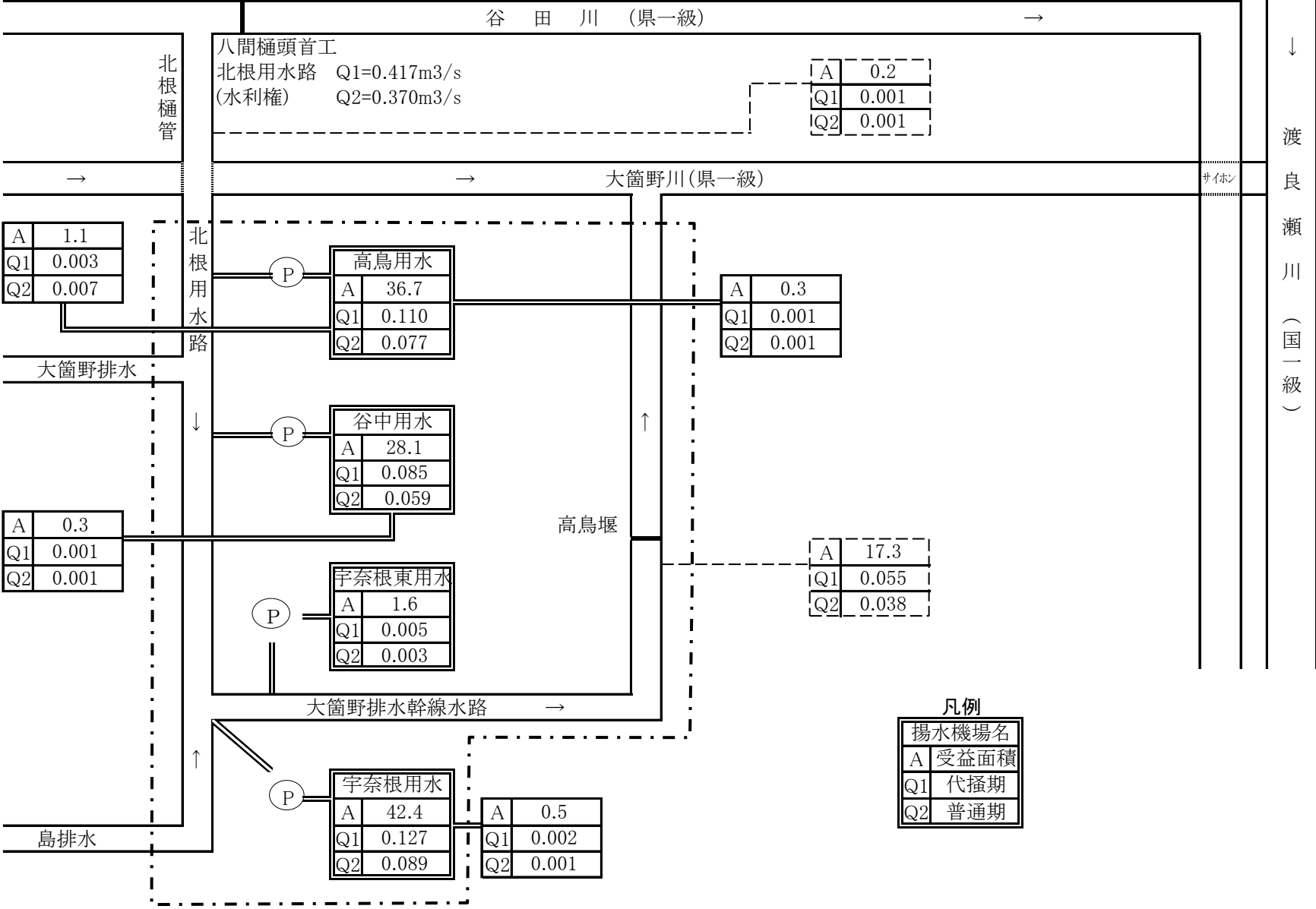
(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項 目 施設名	か ん が い 面 積						計		水 利 権		慣行水利権		延べ取水量	備 考
		500ha以上		500～100ha		100ha以下									
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m3/s	箇所	m3/s	m3/s	
区画整理	貯 水 池	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	井 堰	—	—	3	106.6	—	—	3	106.6	1	0.417	—	—		昭和54年4月3日
	自然取入口	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	揚 水 機	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	計	—	—	3	106.6	—	—	3	106.6	1	0.417	—	—		
合 計		—	—	3	106.6	—	—	3	106.6	1	0.417	—	—		

現況用水系統模式図



(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新 設 年 又は 更 新 年	改修を必要とする理由	備 考
	施設名	施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新 設 年 又は 更 新 年	改修を必要とする理由	備 考
区 画 整 理	貯 水 池	—	—	—	—	—	—	
	井 堰	—	—	—	—	—	—	
	自然取入口	—	—	—	—	—	—	
	揚 水 機	4	106.6	渦巻型	4台 φ200×150他 電動機	不明	ポンプの故障頻度の増	
	用 水 路	—	—	—	—	—	—	
	そ の 他	—	—	—	—	—	—	
	計	4	106.6					
	合 計		106.6		—			

(3) 用水に関する被害状況

該当無し

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

該当無し

2. 排水状況

(1) 排水系統

(別紙現況排水系統模式図参照)

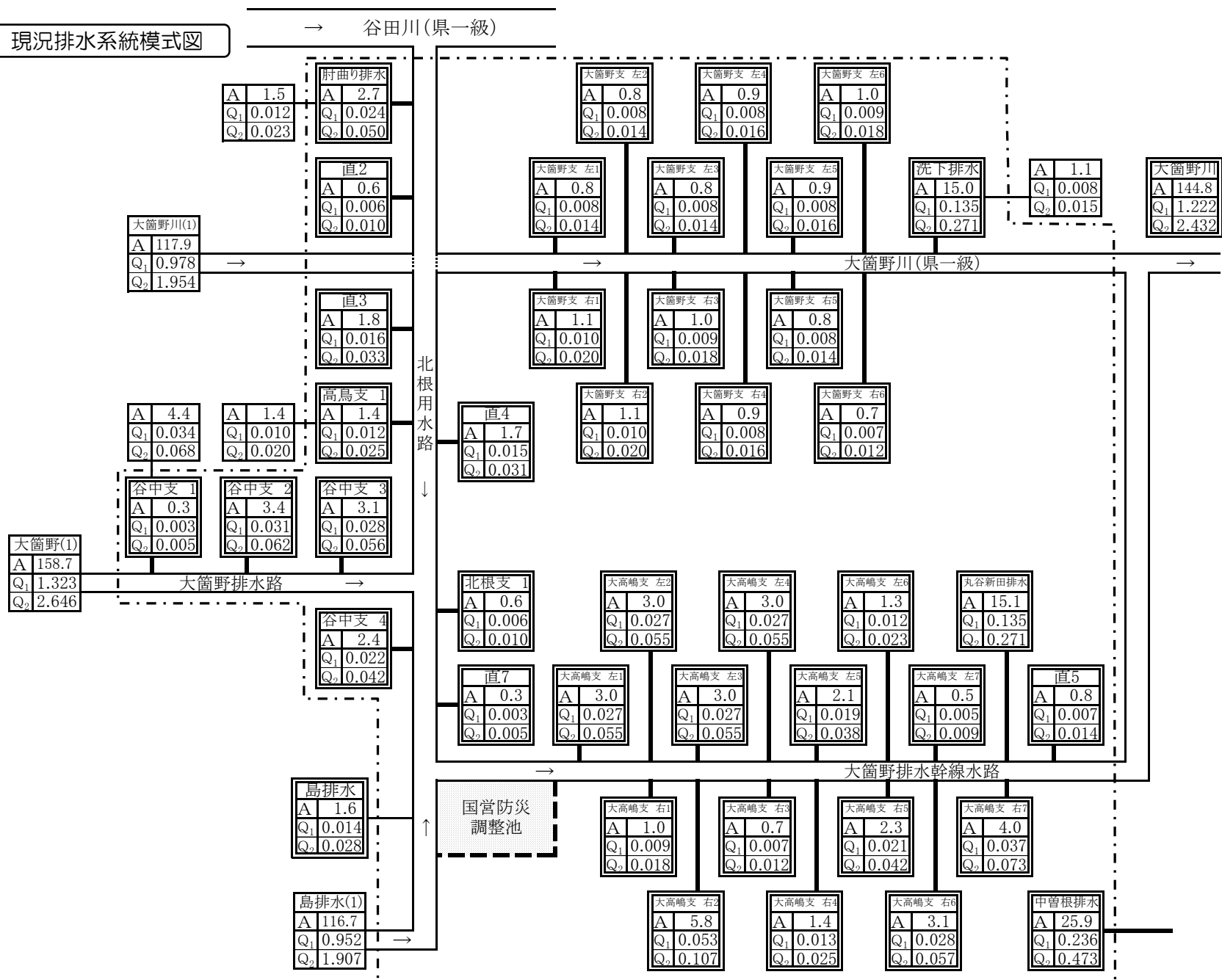
(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項 目 施 設 名		排 水 面 積								排水慣行 (m³/s)	現況排水能力 (m³/s)	備 考
			500ha以上		100～500ha		100ha以下		計				
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha			
区画整理	自然	排水路	—	—	—	—	6	1.6 ～53.6	6	1.6 ～53.6	8.88	13.42	未整備
		水 門	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	機械	排水機	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		水門及び排水機	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		排水路及び排水機	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	計		—	—	—	—	6	1.6 ～53.6	6	1.6 ～53.6	8.88	13.42	
合 計			—	—	—	—	6	1.6 ～53.6	6	1.6 ～53.6	8.88	13.42	

現況排水系統模式図



(イ) 改修を必要とする施設一覧表

(第5表-5)

事業名	項目 施設名		施設名 及び 箇所	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年 及は 更新年	改修を必要とする理由	備 考
区画整理	自然	排水路	6	124. 1	土水路	12, 110 m	不明	区画整理による用排分離	
		水 門	—	—	—	—	—	—	
	機械	排水機	—	—	—	—	—	—	
		水門及び排水機	—	—	—	—	—	—	
		排水路及び排水機	—	—	—	—	—	—	
	計		6	124. 1		12, 110 m			
合 計			6	124. 1		12, 110 m			

(3) 排水に関する被害状況

該当無し

3. 河川状況

該当無し

第4節 道路現況

1. 道路概況

(現況道路模式図参照)

2. 主要道路一覧表

(第6表)

No.	路 線 名	管理区分別	延 長 (m)	幅 員 (m)		構 造	改修の要否	備 考
				全 幅	有 効			
①	県道海老瀬下五箇線	県 道	1,240	11.0	7.0	アスファルト舗装	否	
②	一級町道1号線	町 道	1,050	4.5	3.5	アスファルト舗装	否	
③	二級町道22号線	〃	140	4.0	3.5	アスファルト舗装	否	
④	二級町道34号線	〃	590	2.0	2.0	敷砂利	要	
⑤	二級町道35号線	〃	830	4.5	4.0	アスファルト舗装	否	

現況道路模式図



第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(令和8年3月現在) 令和2年国勢調査 (第7表-1)

項 目 市町村名	総 数 (人)	農 業 (人)	林 業 (人)	漁 業 (人)	鉱 業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電 気 ガ ス 熱供給 水道業 (人)	運 輸 通信業 (人)	卸 売 小売業 飲食店 (人)	金 融 保険業 (人)	不 動 産 業 (人)	医療, 福 祉, 教育, サービ ス 業 (人)	公 務 (人)	その他 (人)	備 考
板 倉 町	7,324	1,127	—	—	3	454	1,755	23	571	1,186	92	55	1,333	191	534	
計	7,324	1,127	—	0	3	454	1,755	23	571	1,186	92	55	1,333	191	534	
比 率(%)	100	15.4	—	0.0	0.0	6.2	24.0	0.3	7.8	16.2	1.3	0.8	18.2	2.6	7.2	

2. 経営農地広狭別農家数及び農地の分散状況並びに専兼業別農家数

(資料：2020センサス)

(第7表-2-1)

区分 市町村名	農 家 総戸数 (戸)	経 営 農 地 広 狭 別 農 家 数 (戸)											
		例外規定 の適用を 受けるもの	0.3 ha 未満	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0	20.0 ha 以上	自給的 農 家
板 倉 町	1,050	—	36	73	175	156	114	111	57	34	14	12	278
計	1,050		36	73	175	156	114	111	57	34	14	12	278
比率(%)	100.0%	—	3.4%	7.0%	16.7%	14.9%	10.9%	10.6%	5.4%	3.2%	1.3%	1.1%	25.5%

(資料：2020センサス)

(第7表-2-2)

区分 市町村名	1 戸 当 た り 平 均 農 用 地 面 積 (ha)						農 用 地 の 分 散 状 況		専 兼 別 農 家 数 (戸)			備 考
	田	畑	樹園地	小 計	草 地	計	1戸当たり 団 地 数	団地当 たり 面 積 (ha)	専 業	兼 業		
										第 1 種	第 2 種	
板 倉 町	1. 56	0. 42	0. 39	2. 37	－	2. 37	－	－	219	62	501	総農家数 782戸
計(平均)	1. 56	0. 42	0. 39	2. 37	－	2. 37	－	－	219	62	501	
比率(%)	65. 8%	17. 7%	16. 5%	100. 0%	－	100. 0%			20. 9%	5. 9%	47. 7%	

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(資料：2015センサス)

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具								主要家畜								備考
	乗用トラクター		田植機		自脱型コンバイン				乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏		
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (100羽)	戸数 (戸)	
板倉町	1,060	796	604	591	524	513			—	—	—	—	—	—	—	—	
計	1,060	796	604	591	524	513			—	—	—	—	—	—	—	—	
100戸当たり 数量 (台,頭)	101		58		50				—		—		—		—		
利用戸数 割合 (%)	76%		56%		49%				—		—		—		—		

4. 主要作物作付状況

資料：令和6～7年 関東農林水産統計年報

(第7表-4)

市 町 村 名			板 倉 町						計	平均	作付率 (%)	備 考
総農用地面積 (ha)			2, 070						2, 070			
総本地面積 (ha)			2, 050						2, 050			
区分 作物名			作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)		
田	表作	水 稻	1, 430	496					1, 430	496	69. 1	(水稻)
	裏作	麦 類	224	360					224	360	10. 8	(小麦)
	小計		1, 654						1, 654		79. 9	
畑	春夏作	—	—	—								データなし
	秋冬作	—	—	—								データなし
	小計		—	—								
樹園地	果樹		—	—								データなし
計			1, 654									
市町村別延べ作付率 (%)			80. 0%									県平均90. 6%

5. 農業の動向

(令和8年3月現在)

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主要作物			家 畜			動力農機具			備 考	
	C	B	A	C	B	A	作物名 C	B	A	家畜名 C	B	A	農機具名 C	B	A		
変化の 状 況 C年を 100 とする 指 数	総農家数	92	81	耕 地	99	98	水 稻	97	106	乳用牛	－	－	トラクター	90	72	A：平成27年 (2015年農業センサス) B：平成22年 (2010年農業センサス) C：平成17年 (2005年農業センサス)	
	専業農家数	99	103	田	100	92	野菜類	87	114	肉用牛	63	0	動 力 田植機	88	67		
	第一種兼業 農家数	83	69	畑	88	101	花き類 花 木	100	0	豚	125	0	コンバイン	87	66		
	第二種兼業 農家数	86	66	樹園地	200	50											
	農 業 従事者数	85	29														
変化の 理 由	他産業への 労働力の流動 専業化への集約			都市化による開発			同 左			営農改善			労力の減少に伴う 機械化省力営農の定着				
地 域 指 定 等				農振指定			S45. 9. 25			野菜指定産地(板倉町)			・ 秋冬はくせい			S41. 8. 18	
				都市計画指定			H26. 8. 29						・ 冬春きゅうり			S41. 8. 18	
				酪農肉用牛生産近代化計画			H23. 5. 31						・ 夏秋きゅうり			S46. 6. 30	
				農業生産総合振興計画			H17. 3. 27						・ 夏秋なす			S43. 10. 15	
													・ 冬春トマト			H1. 8. 25	

A：2015年農業センサス

B：2010年農業センサス

C：2005年農業センサス

第6節 地域環境の概況

板倉町は群馬県の最東端に位置し、東京都心部から60km圏、県都前橋市から50km圏に位置している。町の北端から東端には一級河川渡良瀬川、東端には渡良瀬遊水池、南端には一級河川利根川があり、北・東・南の三方向を河川に囲まれている。

地形は町中央部に広がる低地部と一段高い台地部に分けられ、中央がややへこんでいるものの、ほとんど起伏のない標高約15mの平坦地である。

中央部において、市街地及び住宅地としての景観が見られるものの、背景は広大な水田、河川、水路等の田園風景が広がる純農村地帯である。谷田川河川敷の水郷公園、渡良瀬遊水池等に見られる水辺景観は、町の魅力的な要素となっている。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要旨

本地区は、群馬県東部の平坦な水田地帯で、昭和19年以降には場の整備済みであるが、10アール区画であることや、各揚水機場に設けられている揚水ポンプは設置後40年が経過し、故障の頻度も多く交換部品の調達も困難な状況であり、排水路は土水路、道路網は地区のほぼ中央には1級町道が縦断しているが、地区内の道路は2mと狭いこと等整備水準が低く、機械化展開を阻害する一因となっている。

このため、区画整理を実施し、生産性の向上を図ろうとするものである。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分 事業目的	区画整理										計 (ha)	備 考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	樹園地 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	樹園地 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)		
区画整理	104.8	1.6	—	17.7	124.1						124.1	確定測量面積
計	104.8	1.6	—	17.7	124.1						124.1	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本地区の営農計画は、米・施設野菜等を中心に発展してきたが、耕作者の高齢化、農作物の価格低迷、後継者不足等による営農意欲が減退してきているため、畦畔除去による区画拡大や農業施設の整備を行い、農家の経営規模の拡大を図る。営農改善の方向としては、近代的な農業の確立をするために、農地の流動化を図り大型機械の導入、さらに区画整備、揚水機場及びパイプラインの整備により、労働力の省力化、生産性コストの軽減、生産性の向上を図る。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	桑園 (ha)	その他 (ha)	小 計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
区画整理	現 況	106.6	1.1	—	—	—	—	107.7	—	—	16.4	124.1	
	計 画	104.8	1.6	—	—	—	—	106.4	—	—	17.7	124.1	
	現 況												
	計 画												
計	現 況	106.6	1.1	—	—	—	—	107.7	—	—	16.4	124.1	
	計 画	104.8	1.6	—	—	—	—	106.4	—	—	17.7	124.1	

3. 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経 農 類 型	土地利 用区分	1 年 目 (月)												2 年 目 (月)												備 考				
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
区画整理	現況	水稲+野菜作	水 田					水 稲								水 稲																
			普通畑					なす								な す																
				きゅうり				きゅうり						きゅうり				きゅうり						施設栽培								
								にんじん								にんじん																
	計画	水稲+野菜作	水 田					水 稲								水 稲																
			普通畑					なす								な す																
				きゅうり				きゅうり						きゅうり				きゅうり						施設栽培								
				キャベツ								キャベツ								キャベツ												
	現況																															
	計画																															

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	項 目 土地 利用区分		作物名	作 付 面 積 (ha)		作 付 率 (%)		単位面積当たり 収穫量(kg/10a)		生 産 量 (t)			同左生産量 増減の内訳 (t)		備 考
				現況	計画	現況	計画	現況	計画	現況	計画	増減	面積 増減	単位面積 当たり 収量増減	
区画整理	水田	表作	水 稲	106.6	104.8	99.2	100.0	498	339					361.4	水管理改良
				105.5	103.7	99.2	100.0	498	498	537.3	507.0	△ 9.0	△ 9.0		作付減
		裏作													
	普通畑	春夏作	な す	0.3	0.6	33.3	60.0	3,873	3,873	11.6	23.2	11.6	11.6	-	作 付 増
			きゅうり	0.6	0.6	66.7	60.0	12,973	12,973	77.8	77.8	0.0	0.0	-	
			にんじん	0.3	0.0	33.3	60.0	1,489	1,489	4.5	0.0	△ 4.5	△ 4.5	-	作 付 減
		秋冬作	きゅうり	0.6	0.3	66.7	60.0	12,973	12,973	77.8	38.9	△ 38.9	△ 38.9	-	
			キャベツ	0.0	0.1	0.0	10.0	6,720	6,720	0.0	6.7	6.7	6.7	-	作 付 増
	計			107.3	105.3							△ 34.1	△ 34.1	361.4	
	計														
	合 計			107.3	105.3							△ 34.1	△ 34.1	361.4	

5. 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項 目 土地利用区分	作 物 名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/ha)				備 考
				区 分	現 況	計 画	増 減	
区画整理	水 田	水稻 (個人利用)	42.0	人 力	181.52	113.42	△ 68.1	10a区画湿田→30a区画乾田
				機 械 力	105.73	63.16	△ 42.6	
		水稻 (共同利用)	59.8	人 力	181.52	113.42	△ 68.1	10a区画湿田→60a区画乾田
				機 械 力	105.73	63.16	△ 42.6	
	普通畑	なす	0.6	人 力	752.34	396.86	△ 355.5	10a区画畑→30a区画畑
				機 械 力	412.34	119.73	△ 292.6	
		きゅうり	0.6	人 力	752.34	396.86	△ 355.5	
				機 械 力	412.34	119.73	△ 292.6	
		にんじん	0.0	人 力	884.89	262.64	△ 622.3	
				機 械 力	474.89	194.86	△ 280.0	
		キャベツ	0.1	人 力	1,022.34	616.90	△ 405.4	
				機 械 力	255.04	129.90	△ 125.1	
	計		103.1		5,541.02	2,590.64	△ 2,950.38	
	計							
合 計			103.1		5,541.02	2,590.64	△ 2,950.38	

6. 級地別土地利用区分

該当なし

7. 土地配分計画

該当なし

第3節 用水計画

1. 計画基準年

昭和35年 （利根川水系渇水基準年）

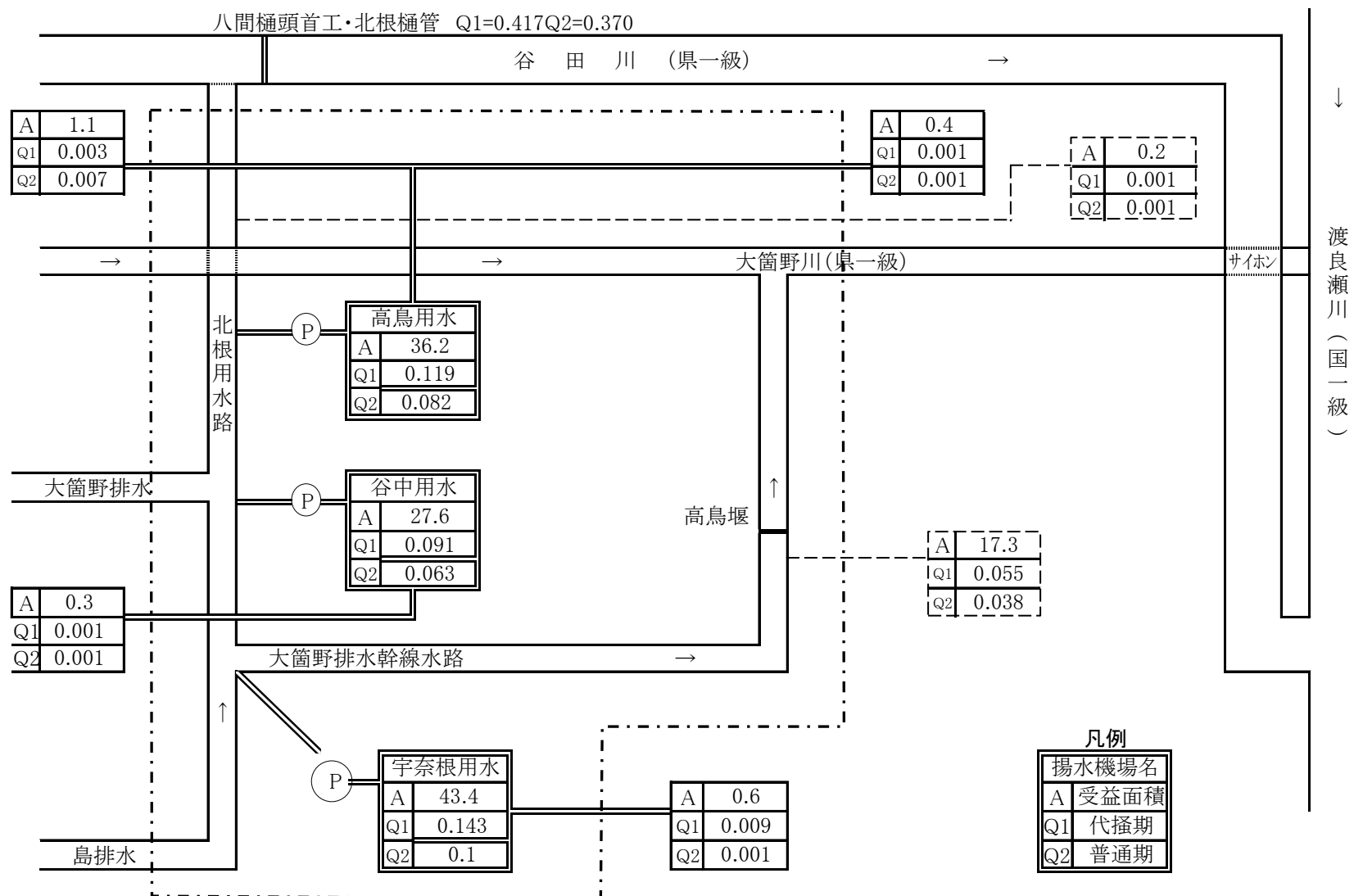
2. 計画かんがい方式

水 田 水 稲・・・たん水かんがい かんがい期間 4月21日～9月15日（代掻き期間4月21日～5月5日の15日間）

3. 計画用水系統

（別紙 計画用水系統模式図 参照）

計画用水系統図



4. 計画用水量

(1)かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面 積 (ha)			水 田 か ん が い			水 田 畑 利 用			畑 地 か ん が い		
		事 業 名			普通期	代掻期 (養い水)	面積 (ha)	1日当たり 計画平均 かん水深 (mm/日)	平均間断 日数 (日)	面積 (ha)	1日当たり 計画平均 かん水深 (mm/日)	平均間断 日数 (日)	面積 (ha)
		区画整理		計	計画平均 単位用水 量(mm/日)	計画代かき 単位用水量 (mm)							
谷田川水系	水田	104.8		104.8	17.9	150.2	104.8	—	—	—	—	—	—

その他		消費水量 (m3/S)	損失 率 (%)	粗 用 水 量	
計画平均 単位用水 量(m3/ 日)	面積 (ha)			平均 (m3/s)	最大 (m3/s)
—	—	0.370	10	—	0.243

(2)営農飲雑用水

該当なし

5. 水源計画

(1)水利用計画

有効雨量 : 考慮しない。
 反復利用 : 考慮しない。
 損失水量 水 田 (水 稲) : 開水路 15% パイプライン 10%

(第10表-2-2-1)

区 分						備 考
		現 況 (m³/s)		計 画 (m³/s)		
		代 掻 き 期	普 通 期	代 掻 き 期	普 通 期	
純 用 水 量		0.295 (0.354)	0.205 (0.247)	0.309 (0.375)	0.215 (0.261)	()内は、 地区外2.1haを含む
有 効 雨 量		－ －	－ －	－ －	－ －	
損 失 水 量		0.032 (0.043)	0.023 (0.030)	0.035 (0.039)	0.024 (0.027)	
全 用 水 量		0.327 (0.397)	0.228 (0.277)	0.344 (0.414)	0.239 (0.288)	
利 用 可 能 量	北根樋管	0.471	0.370	0.417	0.370	
不 足 量		－	－	－	－	

(2)用水対策

(ア)貯水池

該当無し

(イ)井堰及び自然取入口

(第10表-4)

項目 取水施設	河川名	流域面積 (km ²)	かんがい面積 (ha)			取水量 (m ³ /s)		渇水量 (m ³ /s)	備 考
			事 業 名			最 大	平 均		
			区画整理		計				
八間樋頭首工	谷田川	41.34	107.8		107.8	0.417			

(ウ)揚水機

(第10表-5)

項目 名称	水 源 名	かんがい面積 (ha)			所要水量 (m ³ /s)		揚 水 機				備 考
		事 業 名			最 大	平 均	実揚程 (m)	揚水量 (m ³ /s)	台 数 (台)	全揚水量 (m ³ /s)	
		区画整理		計							
高鳥揚水機場	北根用水	26.9		26.9	0.128		1.8	0.128	1	0.128	
谷中揚水機場	北根用水	36.3		36.3	0.108		1.6	0.108	1	0.108	
宇奈根揚水機場	島排水	40.6		40.6	0.143		1.6	0.143	1	0.143	
合 計		103.8		103.8	0.379			0.379	3	0.379	

(エ)用水路

(第10表-6)

項目 名称	水 源 名	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m ³ /s)	延 長 (m)	構 造	備 考
		事 業 名						
		区画整理		計				
高鳥揚水機場	北根用水	26.9		26.9	0.128	4,600	VU φ 100型～VU φ 350型	
谷中揚水機場	北根用水	36.3		36.3	0.108	3,743	VU φ 150型～VU φ 350型	
宇奈根揚水機場	島排水	40.6		40.6	0.143	4,501	VU φ 100型～VU φ 350型	
合 計		103.8		103.8		12,844		

第4節 排水計画

1. 計画基準雨量

群馬県農政部確率雨量計算システムより（北緯 $36^{\circ} 12' 00'' \sim 36^{\circ} 12' 30''$ 、東経 $139^{\circ} 37' 30'' \sim 139^{\circ} 38' 15''$ ）

※世界座標移行前の旧座標標記である。

1/10年確率雨量を適用

- | | | | |
|-----|----------|---------|--------------------------------------|
| (1) | 24時間確率雨量 | 8.4 mm | （長時間降雨強度式・・・ $222.8 / (T + 2.5)$ ） |
| (2) | 1時間確率雨量 | 64.3 mm | （短時間降雨強度式・・・ $5797.4 / (T + 30.1)$ ） |

2. 計画排水方式

排水方式・・・・・・自然排水

幹線排水路……………到達時間内雨量、時間内排水（流域面積 100ha以上及び急峻な地区外流域を有する水路）

支線排水路……………24雨量24時間排水（流域面積 100ha未満の流域を有する水路）

3. 計画排水系統

（別紙 計画排水系統模式図 参照）

[illegible]

4. 計画排水量

(第11表-1)

項目 排水系統名	受益面積(ha)			流域面積 (km ²)	基準雨量 (mm)	降雨による 直接 単位流出量 (m ³ /s/km ²)	基底出量 (m ³ /s/km ²)	全 排 出 量 (m ³ /s)		単位排水量 (m ³ /s/km ²)	備 考
	事 業 名							自然排水	機械排水		
	区画整理		計								
大箇野川	21.9		21.9	0.220	8.4	1.768		0.389		1.768	
大箇野排水	3.9		3.9	1.626	〃	1.410		2.292		1.410	
島排水	1.2		1.2	1.179	〃	0.935		1.102		0.935	
大箇野排幹	49.4		49.4	0.494	〃	1.656		0.818		1.656	
北根用水	12.3		12.3	0.138	〃	1.761		0.243		1.761	
3-2号線	33.0		33.0	0.330	〃	0.942		0.311		0.942	
計			121.7	3.987		7.530	—	5.155	—		

5. 排水対策

(1) 排水水門

該当無し

(2) 排水機

該当無し

(3) 排水路

(第11表-4)

項 目 名 称	流域面積 (km ²)	受益面積(ha)			計画排水量 (m ³ /s)	延 長 (m)	構 造	排 水 本 川			備 考
		事 業 名						名 称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
		区画整理		計							
大箇野川	0.220	21.9		21.9	0.389	1,415	RDU-303型ほか	大箇野川			
大箇野排水	1.626	3.9		3.9	2.292	450	RDU-303型ほか	〃			
島排水	1.179	1.2		1.2	1.102	257	U-1600*2500型	〃			
大箇野排幹	0.494	49.4		49.4	0.818	2,252	RDU-303型ほか	〃			
北根用水	0.138	12.3		12.3	0.243	430	既設利用	〃			
3-2号線	0.330	33.0		33.0	0.311	1,799	RDU-808型ほか	〃			
計	3.987			121.7	5.155	6,603					

(4) その他

該当無し

6. たん水検討

該当無し

第5節 道路計画

1. 道路および索道

(1) 道路

(第12表-1)

路線名 \ 項目	幅(有効) (m) × 延長 (m)	構 造	既設道路との関係	備 考
県道(既設利用)	1路線 6.75(5.5) × 1,240	アスファルト舗装 敷砂利舗装		延長は地区内通過分
町道(既設利用)	27路線 3.0(2.0) ~ × 10,500	アスファルト舗装 敷砂利舗装		延長は地区内通過分
支 線 道 路	1路線 5.0(4.0) × 433	アスファルト舗装	全て上位又は同格の道路と連絡	
支 線 道 路	29路線 5.0(4.0) × 5,549	敷砂利舗装	〃	
耕 作 道 路	15路線 5.0(4.0) × 2,297	敷砂利舗装	〃	
合 計	73路線 20,019 m			

(2) 索道

該当無し

2. 路線配置図

(別紙計画道路路線配置図参照)

計画道路路線配置図



第6節 農用地造成計画

該当なし

第7節 洪水調節計画

該当なし

第8節 干拓計画

該当なし

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長 辺 × 短 辺 (m)	区 画 面 積 (a)	全 体 面 積 (ha)	割 合 (%)	田 面 差 (m)	備 考
107 × 28	30	49.0	46		水田
107 × 56	60	39.4	37		水田
端 田 区	20	18.0	17		水田・畑
計		106.4	100		

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面 積 (ha)	表土扱いの要否の理由	扱 い 深 (cm)	土 量 (m3)	備 考
104.8	良質耕作土の確保（石礫）	15	157,200	水田
1.6	良質耕作土の確保（石礫）	25	2,500	畑
計			159,700	

(3) 末端道水路配置図

別紙添付模式図のとおり。

2. 暗渠排水

該当無し

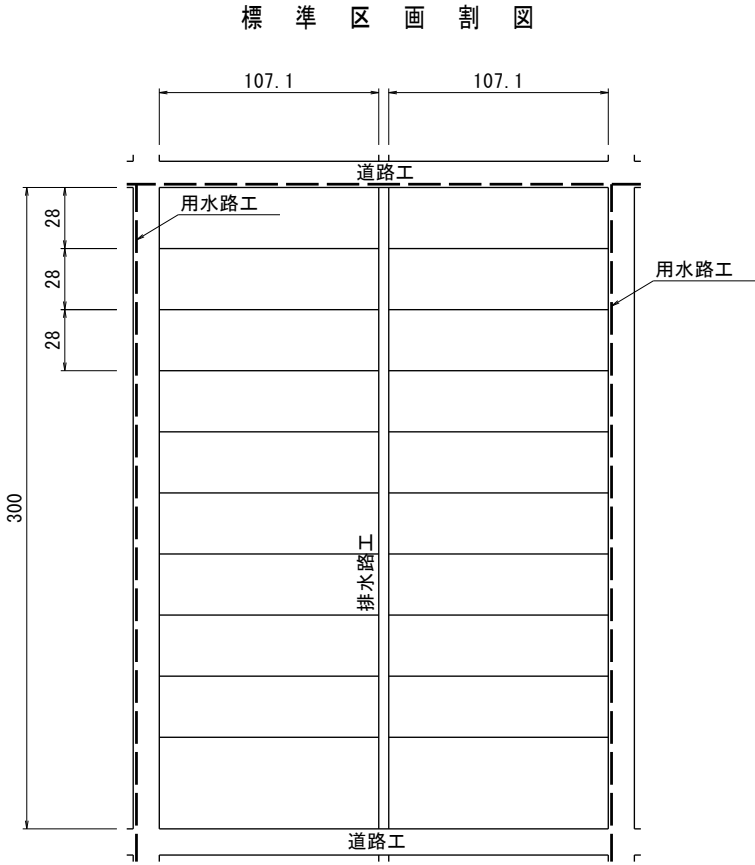
3. 客土

該当無し

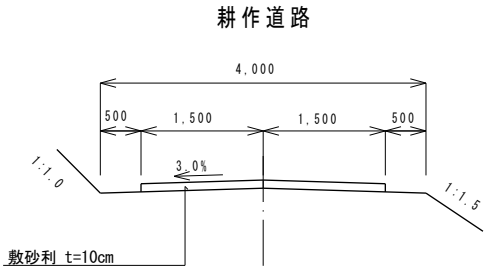
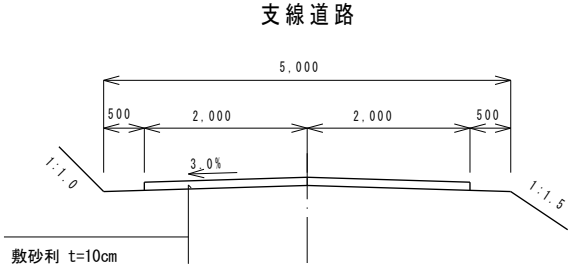
4. 農地保全

該当無し

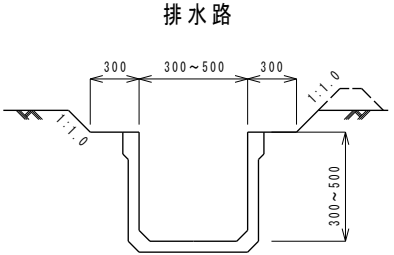
末端道水路配置図



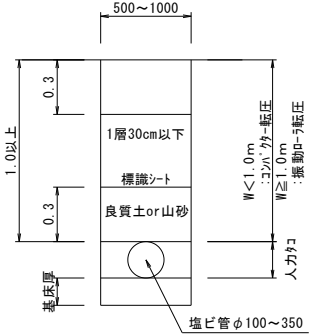
道路工標準図



排水路工標準図



用水路工標準図



第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池

該当なし

2. 頭首工

該当なし

3. 揚水機

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m ³ /s)	揚程(m)		揚 水 機			原 動 機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (KW)	台数 (台)	
高鳥揚水機場	板倉町大高嶋	0.128	1.8	18.9	水中	φ 200	1	片吸込渦巻	37	1	
谷中揚水機場	〃	0.108	1.6	16.2	〃	〃	1	〃	30	1	
宇奈根揚水機場	〃	0.143	1.6	17.2	〃	〃	1	〃	37	1	

4. 用水路

(第17表-4)

項目 水路名	かんがい面積 (ha)			最 大 通水量 (m3/s)	延 長 (m)			構 造	勾配	主要構造物	備考
	事 業 名										
	区画整理		計		開きよ	トンネル・その他	計				
高鳥揚水機場	36.2		36.2	0.128		4,849	4,849	塩ビ管等	ポンプ直送	制水弁・空気弁等	
谷中揚水機場	27.6		27.6	0.108		4,127	4,127	塩ビ管等	ポンプ直送	制水弁・空気弁等	
宇奈根揚水機場	43.4		43.4	0.143		4,639	4,639	塩ビ管等	ポンプ直送	制水弁・空気弁等	
計			107.2	0.379			13,615				

5. その他かんがい施設

該当なし

第2節 排水施設

1. 排水水門

該当なし

2. 排水機

該当なし

3. 排水路

(第18表-3)

項 目 水路名	受益面積 (ha)			排水量 (m3/s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
	事 業 名				開きよ	トンネル その他	計				
	区画整理		計								
大箇野川 (12路線)	21.9		21.9	0.389	1,344	71	1,415	穴あきRDU-303型 ～穴あきRDU-505型	1/1000		
大箇野排水 (2路線)	3.9		3.9	2.292	438	12	450	穴あきRDU-303型 ～穴あきRDU-505型	〃		
島排水 (4路線)	1.2		1.2	1.102	257		257	U-1600*2500型	〃		
大箇野幹排 (17路線)	49.4		49.4	0.818	2,176	76	2,252	穴あきRDU-303型 ～穴あきRDU-505型	〃		
北根用水 (6路線)	12.3		12.3	0.243	402	28	430	既設利用			
3-2号線 (16路線)	33.0		33.0	0.311	1,765	34	1,799	穴あきRDU-808型 ～穴あきRDU-1010 型	1/1000		
計			121.7	5.155	6,382	221	6,603				

4. その他排水施設

該当無し

第3節 道路および索道

1. 道路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

目 区分	項 路 線 名	幅 × 延長 (有効) (m) (m)	構 造	附 帯 構 造 物			最 急 こう配 (%)	同左の 延 長 (m)	最小曲線 半 径 (m)	備 考
				名 称	構 造	数 量 (m)				
県 道	町道 1路線	7.25(5.5)～ ×1,240	アスファルト舗装	—	—	—	—	1,240	—	既設利用
町 道	町道 27路線	3.0(2.0)～ ×10,500	アスファルト舗装 敷砂利舗装	—	—	—	—	10,500	—	既設利用
支線道路	支道 1路線	5.0(4.0)×433	アスファルト 舗 装	—	—	—	1.0	433	—	
支線道路	支道 29路線	5.0(4.0)×5,549	敷砂利舗装	—	—	—	1.0	5,549	—	
耕作道路	耕道 15路線	5.0(4.0)×2,297	敷砂利舗装	—	—	—	1.0	2,297	—	
計	73路線	20,019 m		—	—	—		20,019		

(2) 道路主要構造物

該当無し

2. 索道

該当無し

第4節 農用地造成

該当なし

第5節 洪水調節施設

該当なし

第6節 干拓施設

該当なし

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

区 分	全体面積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標準区画 (a)	土 量 (m3)	面 積 (ha)	土 量 (m3)	
田	104.8	107m×28m =30a	57,000	104.8	157,200	
畑	1.6	107m×28m =30a	2,300	1.6	4,000	
計	106.4		59,300	106.4	161,200	

(2) 末端用水路等

該当なし

(3) 末端排水路等

該当なし

2. 暗渠排水

該当なし

3. 客土

該当なし

4. 農地保全

該当なし

第6章 付帯工事計画

該当なし

第7章 工事の着手及び完了の時期

着手 平成28年度

完了 令和7年度

第8章 環境との調和についての配慮

第1節 環境との調和への配慮の方針

本地区では、自然と調和を図るため、地区内に有するメダカなどの生態系に配慮した、現状と変わらぬ環境を保持する。

第2節 環境との調和への配慮に伴う配慮内容

1. 位置

大箇野川と北根用水が平面交差部

2. 配慮内容

田園環境整備マスタープランに基づく環境配慮区域を含むため、本地区では、天神池からの流入ヶ所は現況用水路を利用し手をつけないことや、大箇野川と北根用水路が平面交差しているヶ所も現況利用とすることで、現在と同じ天神池からの水のネットワーク化を図る。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

本地区の換地計画は、事業施行区域の農用地の集団化その他農業構造改善に資するよう定めると共に、換地は、従前の土地と照応するように定めることを原則とする。

また、非農用地区域については、優良農地を確保・保全するために、現所有者の利用に支障のない範囲内で区画形状の変更を行うものとする。

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積(ha)	備考
設定なし	邑楽郡板倉町大高嶋、下五箇	124.1	
合計		124.1	

2. 換地区を設定しない理由

本地区は、道路、河川等の地区を分断する大規模な構造がなく、換地計画を樹立するのに適当な面積、規模であるので換地区は設定しない。

第3節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準	備考
設定なし	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、次の通りとする。 1. 土地改良事業計画の概要を公告した日の登記簿地積とする。	

2. 用途別予定地積

単位：ha

(第25表-3)

用途 前後 換地区名		農 用 地					道 路 水 路 等										非 農 用 地										合 計					
		一 般 農 用 地				創設農用地	計	機能交換に係る土地				通常事業施行地に含める土地			創設土地改良施設用地			農用地利用計画地	特定用途地			一般国有地	異種目換地	創設非農用地						計		
		田	畑	樹園地	小計			国	県	市町村他	小計	土地改良施設	がけ・やぶ等	小計	土地改良区	その他	小計		宅地	その他	小計			農業経営合理化施設 1	生活経営上必要な施設 2	公用公共用施設用地 3			宅地等		小計	
設定なし	従前の土地	106.6	1.1	-	107.7		107.7	-	0.5	14.0	14.5	-	-	-				14.5	-	0.2	1.7	1.9	-							1.9	124.1	
	換地	104.8	1.6	-	106.4	-	106.4	-	0.5	14.5	15.0	-	-	-	-	-	-	15.0		0.2	1.7	1.9	-	0.8	-	-	-	-	-	2.7	124.1	
	従前の土地																															
	換地																															
	従前の土地																															
	換地																															
合計	従前の土地	106.6	1.1	-	107.7		107.7	-	0.5	14.0	14.5	-	-	-				14.5	-	0.2	1.7	1.9	-							1.9	124.1	
	換地	104.8	1.6	-	106.4	-	106.4	-	0.5	14.5	15.0	-	-	-	-	-	-	15.0		0.2	1.7	1.9	-	0.8	-	-	-	-	-	2.7	124.1	

3. 農用地集団化の方針

(第25表-4)

区分 換地区名	地帯別、 グループ別団地の設定	個 人 別 換 地 の 方 法			備 考
		位置の選択方法	1戸当り目標団地数	区画畦畔の取り扱い	
設定なし	集落別、地目別、作物別及び 営農グループ別集団化を図る。	概ね、各人の住居に近く、かつ、従前の土地の最も密集した位置を中心に集団化を図る。	概ね2団地	移動畦畔 配分地積に応じ移動して定めるが、原則として短辺が10mを下らないよう配慮する。	

4. 非農用地換地の方法

(第25表-5)

区分 換地区名	用 途	非農用地区域の位置の概要	面 積 (ha)	換地の手法	換地取得予定者	最終取得予定者
設定なし	点在非農用地	概ね従前の位置	1.9	特定用途用地換地	従前の土地の所有者	
	河川管理用地	板倉町大高嶋 (別紙計画図へ示した位置)	0.5	異種目換地	従前の土地の所有者	群馬県
	町道用地	板倉町大高嶋 (別紙計画図へ示した位置)	0.3	異種目換地	従前の土地の所有者	板倉町

5. 創設土地改良施設用地換地の方法

該当なし

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

標準地比例方式による。

2. 清算の方法

増価額比例地積清算方式とする。

ただし、非農用地区域内に換地する農地については、従前の土地の地積と換地の地積の差積についてのみ清算する。

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

換地区名 区分	一時利用地の指定予定年度	換地計画の認可申請予定年度	換地処分予定年度	備 考
設定なし	平成 29 年度 ~ 令和 6 年度	令和 8 年度	令和 8 年度	

第6節 換地処分の時期に関する特例

当地区は、区画変更工事が完了し、確定測量が行われたときは、法第89条の2第10項で準用する同法第54条第2項本文の規定にかかわらず工事完了公告前に換地処分を行うことが出来るものとする。

第10章 事業費の総額及び内訳

(単位千円) (第26表)

事業名	区画整理			計	備考
工事費	1,350,000			135,000	令和7年度単価
地方事務費	67,500			67,500	
計	1,417,500			1,417,500	

参考関連事業費

団体営事業 八間樋	8,000	千円
小規模土地改良事業	16,980	〃
その他の事業	28,398	〃
国営渡良瀬川中央農地防災事業	501,226	〃
計	554,604	〃

第11章 効 用

(1) 土地改良一般の例

(第27表-1)

区 分	増 加 見 込 効 果 額 (千円)	増 加 見 込 所 得 額 (千円)	備 考
作 物 生 産 効 果	66,577	△ 141	食料の安定供給に関する効果
営 農 経 費 節 減 効 果	6,606	14,336	〃
維 持 管 理 費 節 減 効 果	△ 2,316	1,392	〃
災 害 防 止 効 果	13,874	—	農業の持続的発展に関する効果
耕 作 放 棄 防 止 効 果	41	—	〃
地 積 確 定 効 果	3,518	—	農村の振興に関する効果
非 農 用 地 等 創 設 効 果	873	—	〃
国産農産物安定供給効果	13,535	—	その他の効果
計	102,708	15,587	

(参考)	総 費 用 (現 在 価 値 化)	2,101,000 千円		
	総 便 益 額 (現 在 価 値 化)	3,114,703 千円	割 引 率	0.04
	総 費 用 総 便 益 比	1.48	評 価 期 間	50 年

(2) 防災ダムの例

該当なし

(3) 農地保全の例

該当なし

第12章 関連する事業

(第28表)

事業名	事業主体名	受益面積 (ha)	総事業費 (千円)	事業内容	関連事由
団体営事業 八間樋	板倉町	420.0	8,000	頭首工 樋門巾3.12m、高1.50m	基幹かんがい
小規模土地改良事業	〃	243.7	16,980	水路工364m	基幹かんがい
その他の事業	〃	243.7	28,398		
国営渡良瀬川中央農地防災事業	関東農政局	700.0	501,226	水路工19Km、貯水池11ヶ所	幹線排水

第13章 現況・計画図面

1. 現況平面図

2. 計画平面図及び土地利用計画図

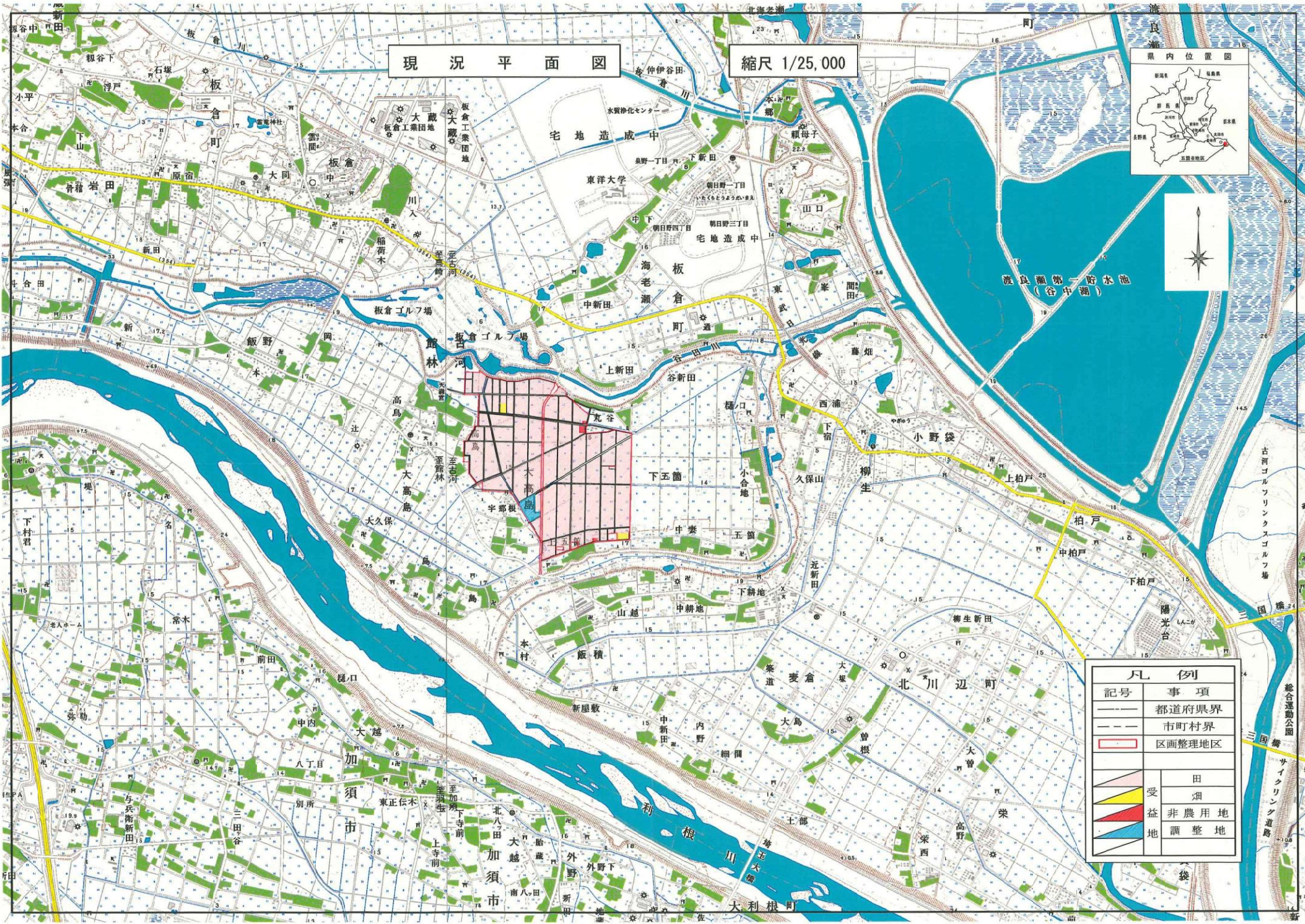
3. 主要構造図

現況平面図

縮尺 1/25,000



凡 例	
記号	事 項
——	都道府県界
---	市町村界
□	区画整理地区
△	田
▽	畑
■	受益農用地
■	調整地



計画平面図及び土地利用計画図（変更）



凡 例	
	地区界
	既設道路
	既設排水路
	既設用水路
	支線道路(5.0m)
	幹線道路(1.0m)
	排水路
	用水路
	用排水用水路
	排水月地
	水
	普通畑
	調整池
	管 路
	洪水方向
	排水機場

縮尺

